

西南中

# 和太鼓だより

2016/11/21 発行

今年の和太鼓学習も、11月5日の文化祭での発表をもって終了しました。

中学生が和太鼓学習を振り返って思いを書きました。



僕は、最初は大きい声を出すことがいやでした。でも、和太鼓をやって、苦手なことをなくすことが出来ました。おかげで、学校でちょっといやなことがあっても、進んでチャレンジ出来るようになりました。音楽会の時は前を見ることができませんでした。とても残念でした。でも、動画を見てみると、「腕は上がるようになったな」と思いました。文化祭では、1回目は失敗の連続でした。でも2回目は、「ファイトー！」と言うのが少し恥ずかしかったものの、失敗することがなかったので良かったです。今年最後の和太鼓で、悔いのこない太鼓をたたけました。来年は、今年の3年生のように、力強く腕をあげて、しっかり前を見てたたけるようになりたいです。



今年は後輩ができたので、「がんばらないと」と思い、一生懸命やりました。今福さんと一緒に練習する前から、1年に少し教えていたので、今年はずごく期待していました。今年も今福さんはすごく熱心に教えてくださって、それに応えることができるように、僕もがんばりました。力強くたたくことや、手を伸ばすことなど、今まで以上にがんばりました。そのがんばりのおかげで、音楽会や文化祭を成功させることができました。並び打ちは、最終的にはすることができなかつたけど、良い発表になったのでよかったです。今福さんと一緒に演奏するときには隣りだったので、負けないように必死にがんばりました。隣りから力強い音が聞こえてきて、少しこわかったです。今年もう太鼓をたたくことはないけれど、テーマやかけ合いを手でたたいたりして、来年に向けてがんばりたいです。



今年の和太鼓では、1年生が入ってきて、去年以上にかっこいいソロになったなと思いました。私は、去年から声出しが最初で、嫌だった時もあったけど、今年は嫌ではなくなり、去年以上に大きな声が出せるようになりました。今福さんが、「自分の殻をやぶれ」と言ってくださったからです。この言葉のおかげで、私は声以外もチャレンジすることができました。今年は並び打ちがあって、「できるのかな」と思っていました。でも今福さんが教えてくださって出来るようになりました。みんなで音が合った時にはとてもうれしかったです。連合音楽会や文化祭では発表することができなかったけど、私にとってとても良い練習になりました。今年の和太鼓も良い思い出になりました。

今年の和太鼓は昨年以上に楽しかったです。ソロでは、他の人に合わせて打つのがなかなかできず、自主練習をたくさんしました。合わせることを考えていると、手が上がってなかったり、声が出せてなかったりして、太鼓の難しさを改めて感じました。でも練習するうちに合わせられるようになり、そのときはすごくうれしかったです。声を出すことは、最初に行く声出しのおかげで出来るようになりました。「自分の殻を破れ!」、この言葉がすごく印象に残っています。この言葉のおかげで、私は物事に本気で打ち込む楽しさを知ることができました。文化祭も終わり、和太鼓の練習ができなくなるのがすごくさみしいです。来年は3年生になるので、みんなを引っ張っていけるようになりたいです。



和太鼓では、腕を伸ばすのが一番難しかったです。毎回注意されているけれど、直すことが出来ませんでした。ソロも2年生になって難しくなり、しめ太鼓に合わせることができませんでした。ペースが速すぎたり遅すぎたりしました。でも音楽会や文化祭ではうまくできてよかったです。並び打ちは、放課後や昼休みを使って練習しました。先輩がすごく優しく教えてくださって、出来るようになったときにはすごくうれしかったです。今福さんにも昼休みに来ていただいて、がんばった成果が発揮できてよかったです。文化祭で「パッション」ができなくて残念でした。今福さんの演奏がすばらしかったです。来年は3年になりソロも難しくなると思うけれどがんばっていきたいです。私も今福さんが言われていたように、チャレンジをしていきたいです。

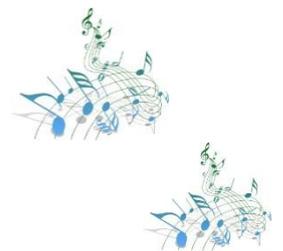
今年の和太鼓では、ひじも伸びて、声もしっかりだせて、良い演奏ができたと思います。1、2年の時、やる気はあったけど、ひじが伸びてなかったり、しっかりたたけていなかったりして、今思えばすごいひどかったなと思います。3年になると、和太鼓をたたくことが「楽しい」と思うようになり、ひじが自然とのびるようになりました。1年の時からちゃんとやればよかったなと、今更ながらとても後悔しました。だからその分、今年はしっかりたたこうと努力しました。並び打ちはみんなと息を合わせてうつののがとても難しかったです。大変だったけど、良い経験ができたなと思います。3年間和太鼓をして、「嫌だな」と思う時期もあったけど、和太鼓をやってよかったと思います。今福さんに感謝したいです。



最初私が感じていた和太鼓への印象は、「ただたたくもの」でした。大きい音が出せれば良いとだけ思っていました。なので1年生の頃は全然腕を上げず、声も小さく、自分自身の太鼓というものができないままでした。でもあるとき今福さんに言われた「自分の殻を破れ」という言葉に私はとても励まされて、しっかりたたくことができるようになりました。私は和太鼓のリーダーを2年間やったけれど、正直大変なこともありました。でもみんなが支えてくれたおかげで、がんばることができました。3年間の和太鼓をとおして、私は学んだことがあります。それは挑戦することの大切さです。恥ずかしがっていたら大きい声は出せないし、やればできるのに腕をのばさないのはダメだと感じました。何事にも挑戦する、そういう意識をもって生きていきたいと思えます。



僕は今年が和太鼓が最後なので、去年よりもしっかりたたこうと思いました。大太鼓も力強くたたきたいと思ってやりましたが、なかなか左手が強くとたけませんでした。姿勢も前の方にいかないように意識しました。並び打ちはすごく難しかったです。でも練習しているうちにどんどんできるようになっていったので楽しかったです。音楽会はすごく緊張しました。でも楽しかったです。文化祭では今福さんと一緒に大太鼓をたたけてうれしかったです。1年生の時からもっと本気で和太鼓をすればよかったと思いました。そうしたら出来ることが増えていたなと思います。来年からもう和太鼓がないので残念です。すごく楽しかったです。来年の演奏が楽しみです。



三世交代事業は公益財団法人 JKAの「地域ふれあい交流活動補助事業」の支援を受けて実施しています。



**RING!RING!**  
プロジェクト  
オートレースの補助事業